

# 全体会

## 次期開催県挨拶

**若木 憲悟** (わかき けんご)

青森県総務部次長



# 次期開催県挨拶

青森県総務部次長

若木 憲悟氏 (わかき けんご)

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました青森県の若木と申します。よろしくお願ひいたします。

次期開催県を代表いたしまして、ひとことご挨拶を申し上げます。皆様、すでに交流会のほうにお気持ちは向かっていると思いますが、もう少しだけお時間をいただきたいと思ひます。

本日はここ山口県におきまして、全国過疎問題シンポジウム2018inやまぐちが盛大に開催されましたことをまずはお慶び申し上げますとともに、このすばらしいシンポジウムに参加させていただいたことを感謝申し上げます。

藤山先生の基調講演からはしっかりとした分析と戦略による希望に満ちた力強いお話を、また、パネルディスカッションからは示唆に富んだ貴重なお話を伺うことができました。

心から感謝申し上げますとともに開催に当たりご尽力いただきました総務省の皆様、山口県の皆様、関係者の皆様、そして改めて、基調講演いただいた藤山先生、パネルディスカッションにご登壇いただいた先生方に御礼申し上げます。

次年、青森県でシンポジウムをお引き受けさせていただきますこととなりますが、来年は新天皇即位に伴う改元が予定されてございます。

シンポジウムの開催時期を考えますと、新しい元号のもとでの最初のシンポジウムとなります。そのようなひとつの時代の節目の年に本日のような素晴らしい内容で開催することができるか、いささか不安なところもござひますが、1年間精いっぱい努力して準備したいと思ひます。

せっかくの機会でございますので、少し青森のことをご紹介させていただきます。手前みそながら、多くの方が本県の位置や形についてはご認識

いただけるのではないかとと思ひておりますが、青森県は本州の最北端に位置し、三方を海に囲まれ、津軽半島、下北半島、このふたつの大きな半島の間に陸奥湾をいだいた特徴的な形をしておりま

す。県の中央部には八甲田山系が位置してあります。この八甲田山系が県内を二分しており、県の太平洋側と日本海側では気候が大きく異なり、特に冬の日本海側の地域では大雪が降り、日本有数の豪雪地帯となっております。

県庁所在市である青森市は人口30万人規模の都市としては世界有数の多雪都市で、県庁所在地としては全国で唯一、市全域が特別豪雪地帯に指定されております。

一方で、冬の太平洋側の地域は雪が少なく乾燥した晴天の日も多く、同じ県内とは思えないほどの違いがござひます。

こうした地形と気候は大きな自然の恵みももたらしてござひまして、豊富な種類の農林水産物がバランスよく生産されております。皆様ご存知のりんごをはじめ、ごぼう、にんにく、ながいもなどの農産物や、たびたびテレビなどで取り上げられます大間のまぐろやホタテ、いかといった水産物など日本トップクラスのものも数多くあります。

またこれらを使用した郷土料理やB-1グランプリでゴールドグランプリを獲得した八戸せんべい汁、十和田バラ焼きなどユニークなご当地グルメも各地にたくさんあり、いろいろな食を堪能することができます。

ちなみに、今や日本最大級のまちおこしイベントになっておりますB-1グランプリは本県八戸市のまちおこし団体が発案し、八戸市で第1回大会を開催したのが始まりで、本県の民間団体の活動から

始まった取組が全国各地の地域活性化にも貢献させていただいているところがございます。

さて、本県では少子高齢化の進行などが全国の中でも非常に速いスピードで進んでおり、県内40市町村のうち、29市町村が過疎地域の指定を受けております。

この厳しい状況を踏まえ、青森県では人口減少克服を県政の最重要課題として位置づけ、人口減少社会にあっても持続可能な地域を作っていくために、地域において経済を回す視点に重点を置いた取組をしております。

その取組のひとつが本県のすぐれた農林水産資源を活かし、高品質な県産品づくりを進め、積極的に売り込んでいく攻めの農林水産業であり、全国に先駆けて取り組んできた結果、全国的に農業産出額が伸び悩んでいる中にあっても順調な伸び率を確保してまいりました。

また、人口減少と高齢化が同時に進む中、県民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域包括ケアを中心に据えながら、交通、買い物、食事など生活機能の維持を市町村や地域の中の多様な担い手が、主体的、持続的に担っていく青森県型地域共生社会の実現をめざす取組も進めてございます。

人口減少という困難な問題に立ち向かっていくためには現状を踏まえた対応を一つひとつ丹念に、地道に息長く取り組んでいくことが必要でございます。

来年度のこの全国過疎問題シンポジウムを、過疎地域の振興について議論し、考えを深め、さらなる取組が推進される原動力となる大会にしたいというように考えております。

最後に、青森市にある我が国最大級の縄文集落跡、特別史跡「三内丸山遺跡」をはじめとする北海道・北東北の縄文遺跡群が今年7月、今年度の世界文化遺産の国内推薦候補に選定されました。

縄文文化は狩猟・採集・漁労を生業として定住し、1万年以上の長きにわたり平和な暮らしを続けた人類史にとってもきわめてまれな重要な文化でございます。

世界文化遺産登録の早期実現に向け、今後しっかりと取り組んでまいりますので、皆様におかれましても登録に向けてご支援のほどをお願いいたしますとともに、来年ご来県の際にはぜひとも三内丸山遺跡に足をお運びいただき、人類共通の宝である縄文遺跡群の価値や魅力にふれていただきたいと思います。

来年は歴史と文化が色づきますここ山口県から本州を一足飛びに縦断し、本州最北の青森県での開催となりますが、ぜひ青森へおいでいただき、秋の実りを堪能していただきたいというふうに思います。

地域の皆様とともに心からおもてなしをさせていただきます。皆様のお越しを心からお待ちしております。どうもありがとうございました。